

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

浜田保健所健康増進グループ 野尻 幸太

研修先：松平（まつひら）たすけ愛協議会

1. 松平地区まちづくりの取り組み

(1) 松平地区とは？

松平地域は、江の川河口から約3～15km上流に位置し、川を挟んで東側が松川町、西側が川平町。

江の川沿いの豊かな自然と周辺の山地に囲まれた広範囲な地域。



(2) 松平村塾の設立

まちづくりを学び、眠っている地域資源を発掘し、助け合いながら地域ビジネスを創出し、全国に情報発信するまちづくりを実践する組織として、平成19年3月地域の有志が結束して「松平村塾」が設立。

(3) 松平ラボの開設

島根大学教育学部人文地理学研究室（作野広和准教授）は、市内全域で行った空き家調査をきっかけに、松平地区の活動を知り、協力して地域づくりを進めていこうと、平成21年7月19日、旧八神児童館建物に分室となるサテライト・ラボラトリー「松平ラボ」を開設。

(4) 松平たすけ愛協議会

小学校の跡地利用を発端に地域コミュニティ全体について協議する場として、平成24年4月に協議会が設立。

2. 研修内容

(1) スタンドアップサーフィン

【日 時】平成 24 年 8 月 5 日 (日) 8:15~16:45

【研修内容】会場の準備・バーキューの支度・片づけ

【経 緯】・以前、江の川の河川敷では松平まつりが行われていたが、スタッフの高齢化に伴い 2~3 年前から中止。

・一方、広島在住のサーファーの人たちが松川町で空き家と耕作放棄地を借りて週末を中心に農作業を始めていた。(この人たちをサーファーマーと呼んでいる)

・広島サーファーマーの皆さんと、松平村塾の交流の輪から始まったイベントで今回は 2 回目



**スタンドアップサーフィンの様子です。
子供達もすぐにコツをつかんでスイスイ！！**



**昼のバーベキューでは、まる姫ポークや鮎が
振る舞われ、大好評でした。**

(2)「たすけ愛プラン」(今後10年間の事業計画)づくりワークショップ

【日 時】平成24年9月2日(日)14:00~18:00

【研修内容】会場の準備・ワークショップへの参加・片づけ

【経緯等】・松平たすけ愛協議会を構成する4つの部会(地域活動支援・地域福祉・六次産業・交流企画)と公民館関係・自治会の5でグループを構成。
・2回目となる今回は1回目のワークショップで行った各部会別の課題と実施したい事項を整理して「たすけ愛プラン」に盛り込みたい事項(今後10年間で実施したいこと)を整理。



当日は40名近い松平地区の皆さんが参加



各グループで話し合ったことを模造紙にまとめ、発表

(3) そば刈り・そば打ち体験

【日 時】平成 24 年 11 月 11 日 (日) 9:30~15:00

【研修内容】そば刈りの手伝い、食事の準備、食事会・交流会への参加、片づけ

【経 緯 等】当日は広島ของサーファーの方を中心に 30 名の参加。



午前中はそば刈り。直前まで雨が降っていましたが、無事に刈ることができました。機械で刈るのではなく、手作業で刈っていきます。

指導を受けながらそばを打っていきます。十割そばなので、手際よく打たないと生地がすぐ破れてしまいます。



そばといっしょにかに汁と炊き込みご飯のサービス。
参加された皆さんは大満足の様子でした。

(4) 「たすけ愛プラン」づくり ワークショップ

【日 時】平成 24 年 11 月 25 日 (日) 13:00~17:00

【研修内容】会場の準備・ワークショップへの参加・片づけ

【経 緯 等】・松平たすけ愛協議会を構成する 4 つの部会（地域活動支援・地域福祉・六次産業・交流企画）と公民館関係・自治会の 5 でグループを構成。
・最終回となる今回は、2 回のワークショップを経て整理された「たすけ愛プラン」（骨子案）についての意見交換と具体的に事業を進めるための課題、今後の進め方などを確認。



今回も約 40 名の松平地区の皆さんが参加



鳥根大学の作野先生の進行のもと前半は班別のワークショップ、後半は、全員で「たすけ愛プラン」について話し合いました。

(5) 川登（かわのぼり）の市

【日 時】平成 24 年 12 月 8 日（土）13:00～15:00（準備）

平成 24 年 12 月 9 日（日） 7:30～16:00（本番）

【研修内容】会場の準備・チンドン屋の一員として参加・片づけ

【経 緯 等】・年末に行われていた市を地元の皆さんが 40 年の歳月を経て復活させて今回で 8 回目。

- ・地元の農産物やつきたてのお餅やそば、雑貨等を販売。
- ・チンドン屋さんの演奏や島根大学混声合唱団の合唱もあり、地元の大きなイベントの一つ。



いつもは、通いを解放して行われていますが、当日寒波到来のため、急きょ小学校の体育館に変更して開催されました。悪天候にも関わらず多くの方が来られました。



3. 研修の感想

結果的に研修期間が8月～12月と長期に渡ってしまいました。これは一年を通じて様々なイベントが行われていることを意味しています。これだけ多くのイベントが住民の方の手で主体的に行われていることを知り、大変驚きました。

色々なイベントに関わるなかで、“参加した人に楽しんでもらう、そして準備する側も楽しむ”という、イベントを行う本来の目的を体験することができました。形式的なことを重視しがちになっていたのととても新鮮な感じがしました。

また、イベントの準備・運営だけでなく、地域の皆さんが主体となって作成する今後10年の事業計画づくりにも参加させていただくことができ、貴重な体験をさせていただくことができました。

私はワークショップの時に六次産業部会に入れていただきましたが、部会の皆さんが「加工場を作って商品を売り出したい!」、「古民家を改装したレストランで料理を提供したい!」という「夢」を語り合っておられたことが非常に印象的でした。

どうしても地域の課題について話し合うと“担い手がない”、“若者がいない”といった暗い内容の話が多くなります。地区の現状に目を向けると、特に川平町では高齢化率が50%を超えています。この状況の中で、前向きな地域の皆さんの意見を直接聞いていると、何か協力できることはないかという想いをもちました。

私は保健所で勤務しているので、営業許可についての質問を受けることが多く、施設基準の資料を持って行ったり、担当者を紹介したりと地域の方と行政をつなぐきっかけになったのではないかと思います。

今回、初めてこの研修に参加しましたが、自分の仕事について振り返るよい機会になり、とても有意義な研修でした。

最後に、色々な行事への参加を快く受け入れていただいた、松平たすけ愛協議会事務局の皆さん、松平地区の皆さんに感謝します。

ありがとうございました。